



知事賞

## 命を守るヘルメット!

き、カネ

2023年7月1日から自転車のヘルメット着用が義務になった。全国でもヘルメットを使用しようという方が増えたり取り組む人が増えていきました。外資が入ってヘルメットを売っている人も増えています。全国でも自転車事故の死亡者の多くがヘルメットをかかずに青森県でも2020年から2024年までの5年間で自転車事故で亡くなった人が多くなりました。そこでヘルメット着用の大切さを訴えるためにこのテーマに取り組みました。

**自転車事故でのヘルメット着用率の致死率**  
×2020年～2024年

| 着用    | 未着用   |
|-------|-------|
| 13.3% | 11.3% |

ヘルメットをかかずに亡くなった人は、ヘルメットをかかずに亡くなった人の約2倍に達する危険にさらされています。

**自転車事故で死亡した者の年齢別割合**  
×令和2年～令和6年合計

| 年齢      | 割合   |
|---------|------|
| 10歳未満   | 1.9% |
| 10歳～14歳 | 1.6% |
| 15歳～19歳 | 1.9% |
| 20歳～24歳 | 1.6% |
| 25歳～29歳 | 1.6% |
| 30歳～34歳 | 1.6% |
| 35歳～39歳 | 1.6% |
| 40歳～44歳 | 1.6% |
| 45歳～49歳 | 1.6% |
| 50歳～54歳 | 1.6% |
| 55歳～59歳 | 1.6% |
| 60歳～64歳 | 1.6% |
| 65歳～69歳 | 1.6% |
| 70歳～74歳 | 1.6% |
| 75歳～79歳 | 1.6% |
| 80歳～84歳 | 1.6% |
| 85歳～89歳 | 1.6% |
| 90歳以上   | 1.6% |

死亡原因の1位は、頭部外傷です。頭部外傷は、ヘルメットをかかずに亡くなった人の約2倍に達する危険にさらされています。

**自転車事故で死亡した者の性別別割合**  
×令和2年～令和6年合計

| 性別 | 割合    |
|----|-------|
| 男性 | 98.2% |
| 女性 | 1.8%  |

死亡原因の1位は、頭部外傷です。頭部外傷は、ヘルメットをかかずに亡くなった人の約2倍に達する危険にさらされています。

**小学生から高校生までの自転車事故で死亡した者の年齢別割合**  
×令和2年～令和6年合計

| 年齢      | 割合   |
|---------|------|
| 10歳未満   | 1.9% |
| 10歳～14歳 | 1.6% |
| 15歳～19歳 | 1.9% |
| 20歳～24歳 | 1.6% |
| 25歳～29歳 | 1.6% |
| 30歳～34歳 | 1.6% |
| 35歳～39歳 | 1.6% |
| 40歳～44歳 | 1.6% |
| 45歳～49歳 | 1.6% |
| 50歳～54歳 | 1.6% |
| 55歳～59歳 | 1.6% |
| 60歳～64歳 | 1.6% |
| 65歳～69歳 | 1.6% |
| 70歳～74歳 | 1.6% |
| 75歳～79歳 | 1.6% |
| 80歳～84歳 | 1.6% |
| 85歳～89歳 | 1.6% |
| 90歳以上   | 1.6% |

死亡原因の1位は、頭部外傷です。頭部外傷は、ヘルメットをかかずに亡くなった人の約2倍に達する危険にさらされています。

**県田舎7年生へのアンケート**

ヘルメットをかかずに亡くなった人は、ヘルメットをかかずに亡くなった人の約2倍に達する危険にさらされています。

**おもしろい種類のヘルメット**

ヘルメットの種類は、安全だけでなく、おしゃれや個性の表現にも使われています。

**まとめ**

県田舎の7年生へのアンケートの結果や資料を見ても、やはりヘルメットをかかずに亡くなった人が少なくないことがわかりました。また、事故を起こしたときの死因は、頭部外傷です。頭部外傷は、ヘルメットをかかずに亡くなった人の約2倍に達する危険にさらされています。自分自身も、自分の未来を守るためのヘルメットをかかずに亡くなった人が少なくないことがわかりました。自分自身も、自分の未来を守るためにヘルメットをかかずに亡くなった人が少なくないことがわかりました。



知事賞

## 日本の稲作が大ピンチ!?

### 今私たち社会にできること

**稲作の重要性**

稲作は、日本の食文化を支える重要な産業です。稲作は、日本の食文化を支える重要な産業です。稲作は、日本の食文化を支える重要な産業です。

**稲作の現状**

稲作は、日本の食文化を支える重要な産業です。稲作は、日本の食文化を支える重要な産業です。稲作は、日本の食文化を支える重要な産業です。

**稲作の課題**

稲作は、日本の食文化を支える重要な産業です。稲作は、日本の食文化を支える重要な産業です。稲作は、日本の食文化を支える重要な産業です。

**稲作の未来**

稲作は、日本の食文化を支える重要な産業です。稲作は、日本の食文化を支える重要な産業です。稲作は、日本の食文化を支える重要な産業です。

**まとめ**

稲作は、日本の食文化を支える重要な産業です。稲作は、日本の食文化を支える重要な産業です。稲作は、日本の食文化を支える重要な産業です。

## 青森県統計グラフコンクール

青森県と青森県統計協会では、統計に対する関心を深め統計の表現技術の向上を目的として、毎年「青森県統計グラフコンクール」を行っています。

- 統計グラフには、複雑な統計数字も簡単・明瞭に表現できる特性があります。
- 統計の内容に関係のある絵と組み合わせると、子供からお年寄りまで広く興味を持って見てくれます。
- 県内在住の小学生以上の方なら、どなたでも応募できます。
- 毎年6～8月末まで募集しています。



## 統計で 今を「サーチ」、未来を「察知」

(令和7年度「統計の日」ポスター標語)

★10月18日は統計の日です★

## 2026年3月発行 青森県総合政策部統計分析課

〒030-8570 青森県青森市長島1-1-1 TEL017-734-9164  
e-mail tokei@pref.aomori.lg.jp